

絶対弟子（ルツ 1:15-18）

人が見るとき、絶望的な状況でも、神様は少しも邪魔されずにご自分の契約を成し遂げられます。いまも、世界中でいろいろなことが起きていますが、神様は忠実に真実に、ご自分の契約を成し遂げておられますが、その方法の中の方法が、人です。その核となるのが、絶対弟子です。神様は絶対弟子を備えられ、それを通してご自分の働きを進められます。

モアブの地に行き、夫と息子二人を亡くし最悪の状況にいたナオミが、イスラエルに食糧の恵みが与えられたということを知り、故郷に戻ることにしました。二人の嫁に自分たちの故郷、神々に戻りなさいと言ったところ、ルツは「あなたの民は私の民、あなたの神は私の神です。」と告白して、絶対についていくと言いました。そこで、ナオミはルツといっしょにカナンに戻りました。ルツのように、常識や人の理解や計算で考えると、そこまでなくてもよいと思えるのですが、まことの神様、福音の信仰が基準になる人を神様は備えておられます。そのような人々を所々に備えて、神様はご自分の契約をまっとうされるのです。このような人を「絶対弟子」と言います。

絶対弟子は外見、条件、能力は全く関係ありません。ルツの当時、異邦人は人間扱いされず、女性は人に数えられないような時代です。しかも未亡人でしたから、差別されるしかありませんでした。しかし、神様は契約をつないでまっとうされることに用いられました。イエス様の時も、イエス様のまわりにはガリラヤ出身の人が多かったのです。ガリラヤから良いものは出ることはないということわざがあったほどです。娼婦もいて、ほとんど貧しい人々で、病気の人も多かったです。エリートもいましたが、絶対弟子は、人間のなかに条件はないのです。外見、能力、才能に左右されると勘違いしないようにしましょう。その代表モデルがアンテオケ教会です。王族、黒人、奴隷など、いろいろな人が混じっていました。条

件に左右されるわけではありません。私たちがフォーカスを合わせるべきなのは絶対弟子ですが、まず覚えるべきなのは、絶対弟子はこの世の評価にとらわれてはならないということです。外見にとらわれず、言い訳にせず、優劣を定めてはなりません。

また、**神様の契約、信仰を離れるどのような理由もありません。**イスラエルとモアブは敵でした。しかし、いのちの信仰に照らすとき、善悪や是非、人種、民族、国家を越えます。いのちの福音の信仰が、そのようなものより上回ると気づくなら、信仰と国が対立するなら国を捨てます。イエス様が弟子たちがイスラエルの国がどうなるのかを問うたとき、あなたがたは知らなくてもよいと言われました。神の国の民は、イデオロギー、政治、



思想を超越するのです。ルツはナオミについていくと、想像を超える苦労があることをわかっていたのですが、福音の信仰に従ってついていきました。計算、利害関係を超越します。イエス様が弟子を召されたとき、それを念頭において「わたしについてきなさい」と呼ばれ、弟子たちは網を捨て、自分の仕事、いままでのすべてを捨ててイエス様に従いました(マタイ 4:19-20)。イエス様に従うことに邪魔することは宇宙に存在しません。金持ちの青年がイエス様のところに来て、永遠のいのちについて尋ねたとき、財産を売って、わたしについて来なさいと言われ青年は悲しんで帰っていったのですが、そのポイントは、イエス様についていくことの価値がわかって、財産捨ててついていくかということです。イエス様についてくるなら、両親、妻、子、兄弟、いのちも捨ててついてきなさいと言われました(ルカ 14:26-27)。絶対弟子には、イエス様についていくという福音の信仰から離れる理由は存在しません。初代教会は祈りに専念していました。迫害の時代で、マルコの屋上の間に集うなら、すべて、いのちまで奪われる危機の時代でした。しかし、初代教会は福音の絶対的な価値がわかっていた

たので、理由なく、集まって祈りに専念していたのです。勉強も仕事も福音のためにあるのです。世の中には必要なもの、すばらしいものはいっぱいありますが、すべて相対的、臨時的、一時的なもので、永遠なものではありません。永遠を左右する地獄、天国を左右する絶対的なものはいのちの福音しかありません。ですから、いのちをかける価値があると知り、かけるようになるのです。

なぜいのちの福音が絶対なのでしょう。人間は神様といっしょでなければならぬのです。これが絶対内容です。神のかたちに創造されたのですが、罪を持っているに神様に絶対に会えません。罪を犯したので、なにをどうしても神様に会うことはできません。罪の背後には、死の勢力を持ち、人間を恐怖に陥れあやつっているサタンがいます(ヘブル 2:14)。神様はたったひとつの道だけを与えてくださいました(創 3:15)。女の子孫が来て蛇の頭を踏み砕く。絶対にキリストだけです。イエス様が世に生まれ、十字架ですべてを完了されました。**イエスがキリストです。ほかにはありません。これが絶対の価値であり、ゆずれないオンリーな**

のです。それゆえ、信仰から離れる理由はありません。パウロは違う話をするなら、天使でさえのろわれるほど絶対だ(ガラテヤ 1:8)と言いました。いろいろなことが起きて、時代も変わりますが、福音は絶対に変わりません。キリストで十分(コロサイ 2:2-3)であり、キリスト・イエスで私は幸せです(エペソ 1:3)。価値と祝福がわかるので信仰から離れたら捨てる理由は絶対に存在しないのです。

メッセージを握り、自分の外見、都合を見る前にイエス・キリストを信じる信仰があるなら、それを基準として、自分が絶対弟子として召されていることを確認しましょう。そしてイエス・キリストを告白することは、どんな理由があっても絶対にゆずれない信仰なのかをチェックして、その信仰で残りの生涯を生きると覚悟しましょう。キリスト・イエスオンリー、私はイエスによって幸せで、イエスで十分だと告白し、見つけ出して、体験しましょう。神様の方法の中の方法である絶対弟子として、残りの人生、勝利の歩みとなることを祈ります。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

ルツ記 1:15-18 絶対弟子

なるほど/ 神様は邪魔されずご自分の契約を成し遂げられる方で、その核となる方法が絶対弟子である。絶対弟子はその人の外見と能力と関係なく神によって備えられるし、絶対弟子は福音の絶対価値がわかる故、信仰の道を離れる理由のない絶対的信仰の道を歩む。
ならば/ 自分の都合や外見を見る前に、イエスをキリストと信じる信仰を基準に、自分は絶対弟子として召されたことを確認しよう。自分にとってこの信仰は、どんな理由があっても譲ったり離れたりすることができない信仰になっているかチェックして改めよう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年11月10日)

1部礼拝：湖の上を歩いたイエス・キリスト(マコ6:45-52)

人の言葉に耳を傾けるのではなく、契約を正しく握って、人生の嵐に勝つまことの答えを受ける信仰生活をするようにしてください感謝します。人が止めることができない人生の嵐の前で、人の声ではなく、歴史の主人である神様を見上げて、嵐に挑戦しますように。宇宙万物をコントロールして私の人生の主人となった神様に会って、そのみことばを握りますように。私が弱くても神様がくださる正確なミッションを握って勝利しますように。これから本質を見つけてますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝：ゲネサレで病人をいやしたイエス・キリスト(マコ6:53-56)

イエス・キリストが行われた癒しを知って、福音を持った者に与えた癒しの力を味わうようにしてください感謝します。神の子どもとなった救いの祝福、身分、権威を持って、古い枠を壊して勝利するしかない新しい枠の中に入りますように。サタンの刻印、根、体質を抜き出して、1、3、8を植えて変える憩いの場を作り、5つの深い原理で病気を癒して、契約を握って別の世界に入りますように。恵みと感謝と祈りで正しい癒しを持続して、別の世界、別の答え、別の力を味わいますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。